学校番号	T3016

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編現代文Ｂ　改訂版」（大修館書店）						
副教材等	自作プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文章を通して、漢字や語彙力を高めて、豊かな言語活動ができるようにしていきましょう。説明的な文章や小説の両方を学びます。簡潔な表現や美しい表現に触れて、感性を研ぎ澄ましていきましょう。

評価に関しては、授業や課題への取り組みを高く評価します。授業にきちんと出席し、積極的に参加するようにしてください。

２　学習の到達目標

・国語の基礎学力である「読む・書く・聞く・話す・感じる」力を身につける。
・適切に理解し、的確に表現できる力を身につける。
・思考力や想像力を伸ばし、心情を的確に読み取ろうとする力を身につける。
・言語を中心に日本の文化に対する関心を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重し、その向上に努めようとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを的確にまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどを理解し、それについての知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出物	・発問評価 ・定期考査 ・提出物	・発問評価 ・定期考査 ・提出物	・発問評価 ・定期考査 ・提出物	・発問評価 ・定期考査 ・提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d	e		
前期Ⅰ	「「迷う」力のすばらしさ」 （石田衣良）		○		○	○	ａ：親しみやすい物語文に触れ、文学に親しむ態度をもつ。 ｂ：「迷う」ことについて話し合い、本文の理解を深める。 ｃ：物語を通じて、感じ取ったことを表現する。 ｄ：文章で用いられている言葉を理解し、適切に読み取る。 ｅ：漢字や言葉を調べて、知識を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	「ナイン」 （井上ひさし）	○		○	○			
前期Ⅱ	「情報の力学」 （佐藤雅彦）	○			○		ａ：身の回りに目を向け、生活と関連付ける。 ｃ：詩・短歌を創作する。 ｄ：筆者の考えを読み取り、具体例を考える。 ｅ：特色や表現への理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	短歌・俳句			○		○		
前期Ⅲ	「祖母が笑うということ」 （又吉直樹）		○		○		ｂ：言葉がわからなくても、意思疎通ができた場面を話し合う。 ｃ：「検索」「読書」に関して自己の考えを表現する。 ｄ：筆者と祖母の関係性について読みとる。 ｅ：カタカナ語の知識を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	「「検索」時代における読書」 （藤原智美）			○		○		
後期Ⅳ	「殺し文句は永遠に―恋する伊勢物語」 （俵万智）				○	○	ｃ：登場人物の行動と心情を読み取り、自身の考えを表現する。 ｄ：本文の表現から心情を読み取る方法を理解する。 ｅ：古文単語や和歌の知識を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	「待合室」 （内海隆一郎）			○	○			
後期Ⅴ	「政治の基本は民主主義」 （山口二郎）	○	○			○	ａ：「民主主義」とは何かを筆者の説明を中心に理解する ｂ：身近にある「民主主義」を話し合う。 ｃ：王子さまの気づきから、自分自身を振り返ってみて、意見を書き表す。 ｄ：登場する生き物の発言する意図を読み取る。 ｅ：本文に登場する多くの二字熟語を習得する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	「星の王子さま」 （サン・テグジュペリ）			○	○			

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。